

市議会だより

しぶかわ

発行◆渋川市議会
編集◆渋川市議会報編集委員会

2023年〈令和5年〉
2月1日 第69号



広報と一緒にして保存しましょう

表紙の写真：こもち幼稚園のもちつき

令和4年

12月渋川市議会定例会

■本会議のあらまし	2ページ
■常任委員会の審査	3～4ページ
■調査特別委員会の報告	4～5ページ
■一般質問（9人の議員が市政を問う）	6～11ページ

令和4年 12月定例会

※百条調査特別委員会の調査を終了

あらかし

令和4年12月定例会は11月30日から12月13日までの14日間の日程で開催されました。市長専決処分の報告2件と請願1件、条例の制定2件、条例の一部改正8件、補正予算4件、訴えの提起1件、議員提出議案4件が上程され、一部を除き各常任委員会で慎重に審査・審議を行いました。請願は採択、訴えの提起と虚偽の陳述に対する告発の件2件は否決、そのほかの議案は原案のとおり可決しました。本会議における渋川市長の答弁の真偽に
関する調査と請願の提出に対する市当局の不適切な関与に関する調査については終了しました。

市長専決処分の報告

固定資産税賦課業務に係る家屋の現地調査を行った際、工具を落とし、床を損傷させた事案、市道において草刈り作業をしていたところ、刈払機により飛ばされた飛来物が駐車していた車に当たりガラスを破損させた事案について和解及び損害賠償額の報告がありました。

渋川市個人情報保護の保護に関する法律施行条例の制定

個人情報保護に関する法律の一部改正に伴い、本市に適用される法律の施行に関し、必要な事項を定めるため、条例を制定しよう

とするもので、全員一致で可決しました。

渋川市個人情報保護審査会条例の制定

個人情報保護に関する法律の一部改正に伴い、渋川市個人情報保護審査会の設置等に関し、必要な事項を定めるため、条例を制定しようとするもので、全員一致で可決しました。

渋川市議会の個人情報の保護に関する条例の制定

議会における個人情報の取り扱いについて定めるため、条例を制定しようとするもので、全員一致で可決しました。

令和4年度補正予算

市道の整備・維持補修、古巻公民館建設予定地の土壌汚染状況調査、带状疱疹ワクチン接種費用助成の増額、JR八木原駅自由通路及び駅舎整備事業等の予算を全員一致で可決しました。



带状疱疹ワクチン接種に助成

訴えの提起

歴史ある硯石の原状回復

に係る費用を求める訴えを提起しようとするもので、賛成少数で否決しました。

本会議における渋川市長の答弁の真偽に関する調査特別委員会の報告と調査終了

令和2年3月に委員会が設置され、委員会を30回開催、9人の証人喚問を行い調査した結果、虚偽陳述の疑いのある市長及び当該議員の2人を告発すべきと決定し、調査は終了しました。

虚偽の陳述に対する告発の件(2件)

本会議における渋川市長の答弁の真偽に関する調査で行った証人喚問において、

委員会として虚偽陳述があったと判定した2名について地方自治法第100条第9項の規定により告発するものです。2件とも賛成少数で否決しました。

請願の提出に対する市当局の不適切な関与に関する調査特別委員会の報告と調査終了

令和4年9月に委員会が設置され、委員会を7回開催、8人の証人喚問を行い調査した結果、市当局の不適切な関与はあったものの、告発に相当する事実はなく調査は終了しました。

(※調査特別委員会の報告は4ページに掲載)

※百条調査：地方自治法第100条により地方議会が行う調査のこと。調査対象は県や市など当該自治体の事務に関すること全般で、必要により関係者の証人喚問や資料の提出を求めることができる。

常任委員会の審査

総務市民

例 渋川市一般職非常勤職員の報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例

全会一致で可決しました。

質疑 月額及び時間報酬が引き上げられた根拠は。

答弁 人事院勧告により、行政職の給料が上がったことに基づくものです。

訴えの提起について

硯石掘り起こしの行為者が硯石の原状回復の債務不存在の確認等を求めて市を提訴したことについて、市が行う者に対し原状回復費用を求める反訴を提起しようとするものです。

可否同数となり、委員長裁決により否決しました。

質疑 硯石の掘り起こしの際の地鎮祭に市職員が出席していたことから、市が掘

り起こしに同意していたとも考えられるが見解は。

答弁 地鎮祭に市職員が参加していたことは事実ですが、しかし、職員が参加していることをもって正式な手続きが取られて許可を得たということとは異なることだと考えております。

総務市民常任委員会協議会

市から次の事項について報告・説明がありました。

旧渋川市立刀川小学校の活用事業者の公募について

廃校になった旧刀川小学校を活用し、地域活性化につながる事業計画を民間事業者から募集するものです。**質疑** 旧刀川小学校の体育館は指定避難所となっているが、扱いは。

答弁 体育館については災害時に指定避難所として使用することを条件に覚え書きを相手方と取り交わす予定です。

(仮称)渋川市犯罪被害者等支援条例の制定方針について

共生社会の実現を目指し、犯罪被害者等に対する支援を推進することにより、市民等が安心して暮らすことのできる地域社会の実現に寄与することを目的に制定するものです。令和5年3月市議会定例会に条例を提案予定です。

経済建設

経済建設常任委員会協議会

市から次の事項について報告・説明がありました。

水道料金の改定方針

令和5年7月検針分からの新料金の適用を予定していましたが、物価高騰の影響を考慮し、改定割合の再検討を行います。改定率は、当面10%とするものの、動力費等の高騰を考慮すると、それに上乗せした改定が必要となります。なお、実施時期については、市民生活に大きな影響を及ぼすこと

から次回以降の市議会定例会において提案されます。

JR八木原駅周辺整備事業基本協定

自由通路及び駅舎整備の基本協定(案)が報告されました。整備費用は、22億6000万円が予定されています。費用負担は、市負担16億7000万円、JR負担1億4000万円、補助金4億5000万円を予定しています。

教育福祉

教育福祉常任委員会協議会

市から次の事項について報告・説明がありました。

はたちを対象とした祝賀式典の新たな名称

渋川市では、今年度も20歳を対象に成人祝賀式典を開催しますが、成年年齢が18歳になったことから、従来の「成人式」では誤解を招くため、式典の名称を「渋川市はたちを祝う会」に変更するものです。

質疑 出席対象人数は。

答弁 今回は令和4年12月1日現在で630人です。

質疑 630人なら2部制にせず、1部制でできるのではないか。また、話を聞いて写真を撮るだけでなく、お祝いのイベント等を少し加えたほうがいいのでは。

答弁 新型コロナウイルスの感染状況により席を空けることなどを考慮し、2部制にしたほうがよいと判断しました。内容については、20歳の当事者から構成される運営委員会の意見を尊重しながら決定していきます。今回は「はたちのことば」の発表を企画しました。



はたちを祝う会対象者 630人

予 算

一般会計補正予算及び特別会計補正予算3議案について、すべて全会一致で可決しました。

令和4年度一般会計補正予算(第12号)

全会一致で可決しました。
感染症予防事業

10月1日から開始した50歳以上を対象とした带状疱疹ワクチンの接種費用助成について、想定を上回る申請が見込まれるため、予算を増額するものです。

質疑

予算の内訳は。

【答弁】

生ワクチンと不活化ワクチンの比率を実態に合わせてものになりました。生ワクチン30%、不活化ワクチン70%の割合とし、1908人分の予算を増額しました。

土壤汚染状況調査事業

古巻公民館の建設予定地において、県の命令により、土壤汚染対策法に基づく調

査実施のための予算です。

質疑

どのような調査を行うのか。また、今後の予定は。

【答弁】

地歴調査、表層調査、深度調査を行います。調査の工期は令和6年1月までの予定です。

質疑

古巻公民館の最終的な建設期日はいつなのか。

【答弁】

今回の土壤汚染状況調査に要する期間のみが延びたとすると、令和7年度中には完了できる見込みと考えておりますが、土壤汚染状況調査の影響がどのように出てくるのか見込みない部分もありますので、具体的なスケジュールは今後しっかりと組み立てて報告したいと考えています。



古巻公民館建設予定地

令和4年第3回臨時会の あらまし(10月26日開催)

訴えの提起について

硯石の原状回復債務不存
在確認等請求事件について、
反訴を提起しようとするもの
です。反訴の趣旨は、原
状回復の費用1206万3
700円を請求するもので
した。請求金額の根拠が不
明確であり、反訴する理由
がないとの反対討論があり、
審議の結果、賛成少数で否
決しました。

令和4年度渋川市一般会計 補正予算(第11号)

原油価格・物価高騰総合
緊急対策として、価格高騰
緊急支援給付金の対象とな
らない市民税均等割のみ課
税世帯への支援、進学や就
職への支援、農林業者及び
中小企業者等に対し、経営
継続のための支援、民間保
育施設及び放課後児童クラ
ブの運営経費増加分への補
助が補正予算として提案さ
れ、全員一致で可決しまし
た。

調査特別委員会の委員長報告

12月定例会において2件の調査特別委員
会の調査結果報告がそれぞれの委員長から
ありました。その概要を紹介いたします。

本会議における渋川市 長の答弁の真偽に関す る調査特別委員会

本会議での議員の質問に
対し、市長が虚偽答弁を行
った疑いの真相解明を行う
ため、令和2年3月定例会
において、議員8人で構成
する「本会議における渋川
市長の答弁の真偽に関する
調査特別委員会」が設置さ
れました。委員長に中澤広
行議員が選任され、30回に
わたる調査等の結果、令和
4年11月25日、次に示す2
件の付託事件の調査はすべ
て議了しました。

①硯石に関する質問に対す る渋川市長の答弁の真偽に ついて

掘り起こされた硯石のバ
リケードとブルーシートの
撤去に関して、市長が関与
したのではないかと議員

の質問に対し、関与を否定
した市長の答弁の真偽につ
いて調査しました。

その結果、委員会の証人
喚問において虚偽陳述が疑
われる証言が2件認められ
ました。

1件目は市長の証人喚問
において、バリケードとブ
ルーシートを撤去したとさ
れる時間帯はどこにいたか
との質問に対し、市長は市
役所で職員と打ち合わせを
していたと証言しましたが、
打ち合わせに同席していた
者の庁舎の出入者記録や証
言により、打ち合わせが別
の時刻だったことが判明し
ました。委員会ではこの証
言を虚偽陳述であると判定
しました。2件目は関係す
る議員の証人喚問において、

バリケードが撤去された日
に、市長から当該議員へバ
リケードを撤去する旨の話

があったと証言したことに
ついて、市長は別内容につ
いての会話はしたが、その
話はしていないと否定して
おり、両者の証言に矛盾が
認められました。この件に
ついては、目撃者や物証等
がなかったため、どちらが
虚偽陳述なのか特定できま
せんでした。

以上のことから1件目の
虚偽陳述については、市長
を告発すべきと判断しまし
た。また2件目の2人の証
言の矛盾については、市長、
当該議員のどちらか、もし
くはともに虚偽陳述をして
いることが明らかであり、
告発の対象となる事象が存
在する以上、これを看過す
ることはできないことから、
委員会として市長及び当該
議員の両名を告発すべきと
判断しました。

② 渋川市社会福祉協議会の 人事介入に関する質問に対 する渋川市長の答弁の真偽 について

市長の社会福祉協議会の
人事介入の有無についてそ
の事実はないとする市長答

弁の真偽について、関係者
の証人喚問を行うなど調査
を行いました。その結果、
社会福祉協議会関係者と市
長の証言内容に違いがあり
ました。どちらが虚偽陳述
をしているのか特定するこ
とは難しい状況にあるもの
の、①の硯石の件同様、こ
れを看過することはできず、
解明すべきですが、市長に
おいては硯石の件で告発す
ると判断しており、社会福
祉協議会関係者も虚偽陳述
を行ったものの、その後自
白で証言を覆していること
からこの件についての告発
は行わないこととしました。

請願の提出に対する市 当局の不適切な関与に 関する調査特別委員会

硯石の原状回復を求める
請願書の提出に対する市当
局の不適切な関与について
調査を行うため、令和4年
9月定例会において、議員
6人で構成する「請願の提
出に対する市当局の不適切
な関与に関する調査特別委

員会」が設置されました。
委員長に山内崇仁議員が選
任され、7回にわたる調査
・協議等の結果、令和4年
12月9日、付託事件はすべ
て議了しました。

委員会では、市長、市長
戦略部長ほか6人の証人喚
問を行いました。

請願書提出の経緯

市長は、令和3年9月13
日の市長初登庁式終了後、
市長室で市長の後援会の3
人に「硯石の原状回復を求
める請願書」の提出を依頼
しました。

請願書は掘り起こされた
硯石の原状回復とその費用
を行為者である議員に負担
させることを求めるもので、
市長が市長戦略部長のパス
ワンのID・パスワードを
使って作成し、市長戦略部
長から市長の後援会に渡さ
れ、後援会の協力により請
願書は、令和3年9月14日
に市議会に提出されました。
請願書提出の目的
市長が請願書提出の協力
依頼をした目的は、①議会
で請願書を採択させ、議会

を巻き込んで当該議員に自
費で硯石の原状回復を行わ
せること。②当該議員に市
の許可を得て掘り起こした
旨の主張をさせないよう
にすること。③議会の多数派
工作を図ること。④不信任
決議の議決により当該議員
を失脚させることであつた
と判断しました。

市当局の不適切な関与

市長、市長戦略部長の請
願書提出への関与について、
市長については、請願書協
力依頼の意図を踏まえると、
請願権という住民が要望等
を表明する権利を利用し、
市議会の多数派工作を図り、
政治的対立関係にある当該
議員の失脚を図る行動であ
つたこと。また、自らの政
治的立場を固めるための行
動であつたと判断できます。
市長戦略部長については、
請願書提出の協力依頼の際
に同席し、積極的に市長の
立場に立って発言していた
ことなどから、請願権の目
的を超えて市長が請願権を
利用して政治的実現を
することを認識しており、

市職員に求められる政治的
中立を犯し、公務時間中に
公務で利用するパソコンを
使用し、請願書の作成に協
力したと判断できます。

以上の理由により当委員
会は市長、市長戦略部長の
行動は「硯石の原状回復を
求める請願書」の提出に不
適切な関与があつたものと
判断しました。

渋川市議会はインターネット中継しています。
市議会ホームページからご覧いただけます。

ホームページアドレス

<https://www.city.shibukawa.lg.jp/gikai/index.html>
パソコンのほか、「スマホ・タブレット」でも見られます。

右の二次元コードを読み取るか、インターネットの
検索で「渋川市議会」を検索し、「議会放映システム」
をタッチしてください。



令和4年12月定例会

一般質問

～9人の議員が市政を問う～

※一般質問のタイトル及び質問内容は質問者の責任において作成しています。

P 7 須田 勝 議員

- 市民のしあわせが第一
 - 1 市民の権利 選挙
 - 2 自治会要望
 - 3 四年間の質問の総括

P 7 山内 崇仁 議員

- 児童・生徒の不登校について
- 人財育成について

P 8 山崎 雄平 議員

- 小野上地区村上の市道整備について
- 市道北一前組線道路改良事業（北牧地内）
- 渋川地域の農業振興について

P 8 山崎 正男 議員

- 高齢者対策について
- 行政と自治会の関係について
- 硯石の問題について

P 9 角田 喜和 議員

- 川島地区の道路拡幅について
- 子育て世帯支援について
- 老人性難聴による補聴器購入補助はどうなった
- 地域防災について

P 9 田村 なつ江 議員

- 誰もが安心して暮らせるまちに！
 - 1 ライフライン（水道）料金
 - 2 高齢者福祉
 - 3 マイナンバーカードとしぶかわ電子地域通貨

P 10 田中 猛夫 議員

- 市政運営について
 - 1 農業振興対策について
 - 2 個人情報の保護と情報公開について
 - 3 市職員の人財育成について

P 10 加藤 幸子 議員

- 市長の政治姿勢について
- 八木原駅周辺整備について

P 11 安カ川 信之 議員

- 笑顔輝く社会へ
 - 1 介護制度
 - 2 ワクチン政策
 - 3 子ども政策
 - 4 社会的孤立対策



一般質問の詳しい内容は、会議録検索システムまたは議会放映システムをご覧ください。渋川市議会ホームページからご覧いただけます。

一般質問



須田 勝

市民のしあわせが第一

市民の権利 選挙

質問 投票率向上に向け、若者の選挙への興味・関心の啓発や入院患者・介護施設入所者の投票の権利の保障を。また移動手段がない市民のために移動投票車の導入を。

総務部長 若者に対しては、選挙出前授業やインターネット広告による啓発を行っています。入院患者等の投票は、不在者投票の活用が可能です。移動投票所の導入には、慎重な判断が必要と考えます。

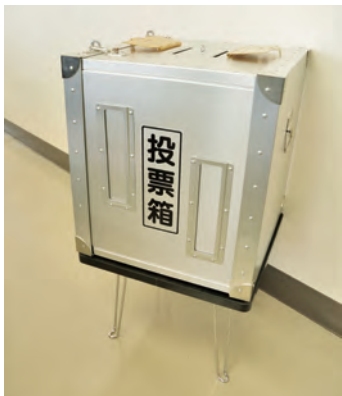
自治会要望

質問 道路補修等、年度初めに3つの要望をしている。赤城地区の過去3年間の着手率と随時要望で提出された対応状況を聞く。

建設交通部長 自治会要望に対して実施した着手率は、おおむね60%でした。随時要望については、おおむね90%を実施いたしました。

4年間の一般質問の総括

質問 4年間16回51項目の質問中、高齢者福祉の総括として、憲法で保障されている生存権のもと、誰もが安心して老後が送れる施策を。



市民の権利 選挙

福祉部長

地域包括支援センターが中心となり、保健・福祉の専門職が連携し、高齢者の尊厳を守り、自分らしく暮らし続けることができるよう支援に努めます。

質問 今後の学校再編に向けた考え方は。また、中学校の部活動で、各校が単独でチーム編成できる生徒数の確保を望む。

教育長 令和9年度からの新たな学校再編計画に向け、部活動の地域移行や魅力ある学校づくりについて議論を深め、計画的に進めてまいります。



山内 崇仁

児童・生徒の不登校について

質問

「不登校児童生徒への支援の在り方について」という文部科学省からの通知では「学校へ登校する」という結果のみを目標にするのではないとあるが、対応は。

教育長 適応指導教室「かけはし」では、基礎学力の補充や生活習慣の改善等のための相談・指導を通して、子どもたちが社会的に自立することを目指しています。

質問 「子ども発達相談室」での不登校や登校しぶりの相談状況は。

スポーツ健康部長 これまで50件ほどの相談があり、長期的な支援が必要なケースも増えています。関係機関と連携し、個々の状況に応じた丁寧な支援に努めています。

質問 不登校児童・生徒に対する教育研究所、子ども発達相談室、教育委員会の情報共有は。

教育部長 これまでも相談を受けた中で個別のケースとして連携を図ってきましたが、定期的に情報共有できる場を設定していくことを今後検討していきます。

人財育成について

質問 将来を担うリーダーを育成するための職員教育プログラムは。

総務部長 職員が職位、職務に応じた業務や責任を理解することを目指し、新任主査、新任係長といった階層別の研修を実施するなど育成に取り組んでいます。

質問 広く市民に救命処置知識を取得させる取り組みはできないか。

スポーツ健康部長 市主催の救命講習と併せて消防本部主催の講習会についても広く周知し、より多くの市民が応急手当の知識を習得できる機会の提供に努めます。



相談件数が増加している
子ども発達相談室



山崎 雄平

小野上地区村上の道路整備

小野上地区村上の道路整備

質問 市道3-2202号線は、

谷の口住民センターから林道峠山線を結ぶ市道で、一部が落石などにより何年も通行止めになっている。沿線の地権者や登山者から、市の職務怠慢という声を聞く。一刻も早く道路を通行可能にすべき。

建設交通部長 集中豪雨等で、転石や倒木等が市道に堆積しているため、約540mの区間において通行止めを行っております。補正予算の議決をいただいた後に速やかに撤去を進めてまいります。

市道北一前組線の拡幅

質問 旧子持村において計画され

たが、まだ道路改良がされない。どうなっているのか。沿線の地権者の理解を得るために、どのように取り組んでいるのか。

建設交通部長 地域住民から一定

の理解を得られたことから、本年度より詳細設計に着手しました。今後も地元説明会の開催や地権者との話し合いを継続し、事業の進捗よくに努めます。



何年も通行止めになっている市道

質問 免許返納するような高齢者が

大型機械を使って農作業に従事し、後継者も新規就農者もない。耕作放棄地も増えていく。産業としての農業は終焉を迎えていくように思う。市は、渋川地域の農業をどう考え、これからどうしていくのかを問う。

産業観光部長 伊香保温泉と連携

した観光農業の推進、平たん地から高冷地と標高差のある地形を活用した多様な農産物の生産を強みととらえ、農業振興計画に基づき農業の発展に努めてまいります。



山崎 正男

市の考えを問う

高齢者対策は

質問 高齢者は増えているが、老人会の会員は減り続けている。これを行政はどうとらえているのか。

福祉部長 高齢者の就業年齢の上昇、趣味や価値観の多様化等の社会の変化により、全国的に減少傾向ですが、会員増強の取り組みや魅力ある活動づくりを支援します。

行政と自治会活動の関係

質問 過疎地の自治会は人口密集

地に比べ資金がなく、運営が非常に厳しい。過疎地に配慮した行政事務委託料配分の検討を。

市民環境部長 小さい自治会に多

く配分することは、大きい自治会の配分を減らすことになり、配分方法の変更は、多くの自治会の合意を得ることが必要です。

質問 広報等の配付で、過疎地は、

都市部に比べ業務の負担が大きすぎるが、行政事務委託料の算定は一律である。過疎地の業務量を考慮し、委託料の上乗せを。

市民環境部長 自治会ごとに異なる条件を勘案して業務量を算定す



高齢化により活動参加者が減り続ける現実

るのは困難です。このため、均等割及び人口・世帯割を採用し、統一的に委託料を算定しています。

硯石の問題の和解を

質問 硯石の掘り起こし問題から

3年の月日が流れ、裁判沙汰に掘り起こしの前に市職員も関与しており無許可とは言えない。市長は無許可で掘り起こしたとの考えを改め、議長は裁判を取り下げ、双方が十分に話し合い、市民のためにも和解することを望む。

市長 望月議員の行為が発端です。現状回復の要求を行っています。

一般質問



角田 喜和

高校卒業までの医療費無料化を

質問 高校卒業までの医療費無料化は、県内では28自治体が実施している。令和5年度から所得制限なしの無料化実施の決意を。

市長 中学生までの医療費無料化と同様に、県が主導で取り組むべき政策と考えます。市長会でも県下一斉の導入を知事に要望しており、県の動向を注視していきます。

市道大塚大輪原線の拡幅を

質問 上信自動車道の川島除雪ステーションに通じる道は本線からの出入口ではないが、市道大塚大輪原線につながっているため、一般車両の通行量が増えている。この市道の拡幅が必要では。

建設交通部長 具体的な着手時期や整備の概要については、未定です。今後は渋川西バイパスによる周辺地域への影響などを精査し、判断していきます。

質問 この市道は車のすれ違いに支障がある区間があり、沿線の地権者から道路用地無償提供の意思表示があった。早急に道路拡幅を。

建設交通部長

交通量の変化や自



拡幅が待たれる
市道大塚大輪原線（川島地内）

治会の要望をもとに、現地の状況を確認の上、対策を講じるか判断していきます。

防災行政無線の難聴地域対策

質問 防災行政無線が聞こえない地域の対策は。また、放送内容はフリーダイヤル自動応答サービスで聞くことができるが、6回線しかない。回線を増やす考えは。

市長 防災行政無線だけでカバーすることは不可能なため、さまざまな手段を使い防災情報の伝達を行っています。どの程度の回線数が必要か検討します。



田村なつ江

誰もが安心して

暮らせるまちに！

ライフライン（水道）料金

質問 物価高騰支援として水道料金の免除や減額等を実施しないか。

市長 水道事業は公営企業として公益性と収益性を求め行っていく事業です。交付金等は、現状必要などところに重点配分しています。

加齢性難聴者への補聴器購入補助

質問 加齢性難聴がフレイルや認知症につながることなどの情報提供や耳の聞こえを確認するチェックシート等の配布を介護保険証を送付する機会を利用して、周知することを提案する。見解を。

スポーツ健康部長

耳の健康に関する周知の内容や方法等につきましては、渋川地区医師会等と相談しながら研究していきます。

質問 補聴器は高額で保険適用にならず自己負担。年金暮らしの高齢者にはハードルが高い。補聴器購入補助制度の導入は。

福祉部長

脳機能維持に効果的な取り組みやフレイル予防など総合的に支援提供し、補助制度は他市町村の状況等を踏まえ研究します。

マイナンバーカードとしがわか電 子地域通貨

質問 マイナンバーカードの本市の取得率は。

市民環境部長 11月20日現在の交付率は40・09%です。

質問 分かりづらいマイナポイントを含め、マイナンバーカード、「渋Pay」のさまざまな疑問に答える相談窓口を開設しては。

総合政策部長

市民目線に立ち、既存のスマートフォンサポート窓口等の活用によりデジタルに関する相談窓口の設置を検討します。



補聴器購入補助制度の導入を



田中 猛夫

市政運営について

農業振興対策

質問 飼料・肥料等の生産資材の高騰により、市内農業はかつてない苦境に追い込まれている。農家支援対策を新規拡充する考えは。

産業観光部長 これまでに燃油価格高騰に伴う施設園芸農家への補助や物価高騰の影響を受けている農業経営者を支援する事業を実施しましたが、飼料や肥料、資材高騰が続いておりますので引き続き支援策の検討を進めてまいります。

個人情報保護と情報公開

質問 市長は、個人情報である課税情報を新聞紙上に公表した。公表した理由と法的根拠は。

市長 私は市長という政治家であり、市民に信頼を得ることを基本としています。私の親族に関する件ではありますが、本人の同意のもとに公表したものです。

個人情報公表する法的根拠

個人情報を公表する法的根拠もなく手続きもせず公表したことは個人情報漏えいではないか。
市長 市長として業務上知り得た情報を公表したものではありません。



飼料価格の高騰により酪農経営の危機

ん。親族に届いた課税通知を本人同意のもとに公表したものであり、個人情報の漏えいではありません。

市職員の人材育成

質問 市の目指す職員を育成するための人材マネジメント及び職場環境づくりの取り組みは。

総務部長 幅広い職務経験や知識を持つバランスのとれた人材の育成に努めるとともに、職員の健康管理にも力を入れていきます。また、多様な機会を通じて、職員同士が活発に意見を出し合える風通しのよい環境づくりを推進します。



加藤 幸子

大同特殊鋼スラッグの撤去を

質問 有馬五輪平の市道6路線のスラッグを撤去すべき。計画は。

産業観光部長 大同特殊鋼(株)との鉄鋼スラッグ製品の処理に関する基本協定書に基づき、順次、対策工事を進めてまいります。

質問 古巻公民館建設予定地のスラッグは今後どう対応するのか。

教育部長 群馬県環境部局に指示や助言を求めながら、土壌汚染対策法等の関係法令に基づき、適切に対応してまいります。

質問 市長は市政改革として、職員に口利き等の記録や議員等との飲食禁止を指示しているが、まだ不十分。市長の市政改革の決意を。

市長 職員が一部の議員の威圧を受けました。毅然とした公平・公正な姿勢を取れるように、市長として先頭に立ち改革を進めます。

八木原駅の自由通路設置の概要は。ホームのかさ上げは。

建設交通部長 駅の東西をつなぐ自由通路には、屋根をかけエレベーターを設置し、自由通路から直接上り線ホームに下りられる構造



通学路の安全のため用水路にふたを

とする予定です。下り線ホームのかさ上げも実施する予定です。

質問 市道中村大久保線の用水路にふたをして、歩道の設置を。

建設交通部長 関東電気保安協会から市道1-1507号線までの間は、ふたをかける予定です。

質問 八木原駅周辺地区計画の街区道路7号線の整備の考えは。自治会からも要望が出されている。

建設交通部長 街区道路は、地権者の方の新築や建替え等の際に協力をいただき、一定の土地の確保ができた段階で整備を検討します。

一般質問



安カ川信之

笑顔輝く渋川に！

介護費用の格差是正を

質問 特別養護老人施設と住宅型有料老人ホームでは入居費用格差が大きい。同じ介護度や介護保険料も負担している。ぜひ有料老人ホームの入居者へ家賃補助を。

市長 団塊の世代がすべて75歳以上となる2025年以降の高齢者福祉にかかわる施策の持続可能な制度設計を考えるためにも、国の施策等を踏まえ検討します。

質問 来年度から子宮頸がんワクチンに9価ワクチンが追加される。安全性や有効性を該当者に個別周知を。

スポーツ健康部長

接種対象となる方へ、その方に応じた予診票や

ワクチンに関する説明書等を通知し、接種についての適切な判断ができるよう丁寧な周知に努めます。

子育て支援に渋Payを

質問 妊娠・出産・育児と切れ目のない伴走型支援が必要だ。また経済支援も継続的に行わなければならない。ぜひ渋Payを活用すべき。

市長戦略部長

渋Payは、加盟店の決済負担額の1%をこども夢基金に積み立てる仕組みになっています。これを将来を担う子どもたちへの施策に活用していきます。

質問 社会的孤立対策は行政と民間団体との連携が大事だ。また社会の理解や関心も必要。相談側の支え手づくりも必要。市の見解は。

市長 福祉における課題が多様化する中で迅速かつ実効性のある支援体制の整備を図るため、市民、行政、関係団体と連携し、地域の課題解決に取り組んでまいります。

シブペイ 渋Pay =



子育て支援に渋Payを

令和5年3月市議会定例会日程予定

日	月	火	水	木	金	土
2/26	27	28	3/1	2	3	4
	本会議 (開会・議案上程)	本会議 (議案上程)	本会議 (議案上程)	常任委員会 (総務市民) (経済建設)	常任委員会 (教育福祉)	
5	6	7	8	9	10	11
	常任委員会 (予算)	本会議 (表決・予算議案上程)	本会議 (予算議案上程)	本会議 (予算議案上程)	一般質問	
12	13	14	15	16	17	18
	休会 中学校卒業式	一般質問	一般質問	常任委員会 (予算)	常任委員会 (予算)	
19	20	21	22	23	24	25
	常任委員会 (予算)	春分の日	常任委員会 (予算)	休会 小学校卒業式	本会議 (表決・閉会)	

○本会議は午前10時から開会します。
○日程は変更されることがあります。ホームページ等でご確認ください。

請願・陳情

◎安全・安心の医療・介護実現のため人員増と処遇改善を求める請願書
.....
【採択】

議会人事

◎12月13日
中澤広行議員が市議会議員を辞職しました。

令和4年12月定例会の審議結果

条例の制定・・・・・・・・・・・・・・・・ 原案可決

- 渋川市個人情報の保護に関する法律施行条例
- 渋川市個人情報保護審査会条例
- 渋川市議会の個人情報の保護に関する条例

条例の改正・・・・・・・・・・・・・・・・ 原案可決

- 渋川市公文書等の管理に関する条例の一部を改正する条例
- 渋川市情報公開条例の一部を改正する条例
- 渋川市職員の定年等に関する条例等の一部を改正する条例
- 渋川市議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例
- 渋川市長及び副市長の給与及び旅費支給条例の一部を改正する条例
- 渋川市職員の給与に関する条例及び渋川市一般職の任期付職員の採用及び給与の特例に関する条例の一部を改正する条例
- 渋川市一般職非常勤職員の報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例
- 渋川市消防団条例の一部を改正する条例

令和4年度補正予算・・・・・・・・・・・・・・・・ 原案可決

- 渋川市一般会計補正予算(第12号)
- 渋川市介護保険特別会計補正予算(第2号)
- 渋川市伊香保温泉観光施設事業特別会計補正予算(第2号)
- 渋川市下水道事業等会計補正予算(第1号)

報 告

- 調査特別委員長報告の件(2件)

市長専決処分の報告

- 和解及び損害賠償の額を定めることについて(2件)

請願・陳情・・・・・・・・・・・・・・・・ 採 択

- 安全・安心の医療・介護実現のため人員増と処遇改善を求める請願書

意 見 書・・・・・・・・・・・・・・・・ 原案可決

- 安全・安心の医療・介護実現のため人員増と処遇改善を求める意見書

人 事・・・・・・・・・・・・・・・・ 許 可

- 議員辞職の件

そ の 他・・・・・・・・・・・・・・・・ 否 決

- 訴えの提起について
- 虚偽の陳述に対する告発の件(2件)

令和4年第3回臨時会の審議結果 (10月26日開催)

市長専決処分の報告と承認・・・・・・・・ 承 認

- 令和4年度渋川市一般会計補正予算(第9号・第10号)

令和4年度補正予算・・・・・・・・・・・・・・・・ 原案可決

- 渋川市一般会計補正予算(第11号)

そ の 他・・・・・・・・・・・・・・・・ 否 決

- 訴えの提起について

議会往来

10月

▽12日 福岡県春日市議会が視察来庁(障害平等研修(DEET研修)について)

▽18日 愛知県東海市議会が視察来庁(学校給食費完全無料化について)

▽19日 熊本県山鹿市議会が視察来庁(観光周遊ルート活用促進事業について)

▽20日 北海道旭川市議会が視察来庁(渋川市インターネット上の誹謗中傷等の防止及び被害者支援に関する条例について)

▽27日 宮城県富谷市議会が視察来庁(DX推進の取り組みについて)

▽12月 20日 東京都墨田区議会が視察来庁(带状疱疹予防接種費用の一部助成事業について)

編集後記

4年間の任期が終わろうとしています。

編集委員としてこの2年間、7人の委員で市民の皆さまに読んでいただける議会報を作成するために、レイアウトを考えたり、文字のフォントを変えたり、文字の大きさを変えたりしてきました。いかがでしたでしょうか。次号から、新たなメンバーでの編集となりますが、引き続き市政の情報を市民に伝える議会報を編集することを心がけていただきたいと思います。(編集委員長 山内崇仁)

議会報編集委員会

- 委員長 山内 崇仁
副委員長 反町 英孝
委員 田村 なつ江
田中 猛夫
山崎 正男
加藤 幸子
池田 祐輔



環境にやさしい植物油インキを使用しています。